

## 県警察本部の課長として STEP 4

山梨県警察本部刑事部組織犯罪対策課長  
**松本 光義**  
Mitsuyoshi Matsumoto

- 平成 6年 4月 入庁
- 7月 警視庁府中警察署
- 平成 7年 12月 警察庁暴力対策第一課
- 平成 8年 3月 兵庫県警察本部暴力団対策第二課
- 平成 9年 10月 兵庫県警察本部暴力団対策第一課
- 平成 10年 3月 警察庁暴力団対策第二課
- 平成 11年 8月 アメリカ合衆国留学
- 平成 12年 6月 警察庁暴力団対策第二課
- 平成 15年 3月 警察庁刑事企画課兼国際第二課
- 平成 16年 3月 警視庁立川警察署
- 平成 17年 9月 警察庁薬物銃器対策課
- 平成 18年 4月 在英国日本大使館
- 平成 21年 4月 警察庁犯罪収益移転防止管理官付
- 平成 22年 3月 警察庁
- 平成 23年 3月 犯罪収益移転防止管理官付補佐  
現職



## 組織犯罪に立ち向かう

暴力団は、組織の威力・資金力を使って、覚醒剤の売買、各種事業への介入等により資金を獲得し、それを更なる犯罪や組織固めに投入しています。また、世界的規模で活動する犯罪組織が我が国で犯罪を行ったり、犯罪組織の構成員が多国籍化しているといった状況もみられます。

こうした組織犯罪に対して、警察では、犯罪の検挙はもちろんのこと、暴力団対策法に基づく規制を行うなど、様々な手段を駆使して対策を行っています。

私は、これまで警察庁及び都道府県警察で組織犯罪対策部門を中心に勤務し、全国的な施策の企画立案とともに、事件捜査、暴力団対策法の適用、国際捜査共助等に携わってきました。現在は、山梨県警察本部の組織犯罪対策課長として勤務していますが、事件捜査や各種施策の実施に当たっては、自ら捜査等を

行った経験はもちろん、警察庁で研究してきた全国警察の事例等を基に、個々の事案に対して取るべき措置を考えています。これまでの経験が思わぬ形で生きてくることを実感しています。

Ⅱ種採用警察官は、各分野のスペシャリストとして専門分野を中心に経験を積んでいくこととなりますが、こうして得た専門的な知識や経験をいかして国民の期待に応えていくことは大きな喜びです。皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。



## 警察署の課長代理として STEP 3



警視庁麻布警察署組織犯罪対策課課長代理  
(平成13年入庁)

## 目の前の事件を全力で捜査する

私は現在、警視庁麻布警察署組織犯罪対策課課長代理として、暴力団、国際犯罪組織、銃器薬物密売組織の実態解明・壊滅に向けて奮闘しています。

警察庁では、捜査第一課、国際捜査管理官等で勤務してましたが、各種施策の企画立案に当たってよりどころとしてきたのが、警視庁や愛知県警察での第一線勤務の経験でした。第一線勤務時に自ら肌で感じてきた現場の状況をイメージしながら、実態に応じたものとなるよう各種施策を推進してきました。

そして現在は、再び第一線において日々の事件捜査に追われています。例えば、先日、暴力団幹部による恐喝事件がありました。被疑者の特定までは順調でしたが、被疑者である暴力団幹部が所在不明となったのです。課員とともに所在の聞き込みを重ね、被疑者を追い詰め、ようやく逮捕にこぎ着けることができました。このように、現在は、課員と一体となって目の前にある一つ一つの事件を全力で捜査しているところですが、第一線の現場で捜査員と苦楽を共にした経験は今後の勤務にもいかされたいと思います。

Ⅱ種採用警察官は、第一線で培った経験を基に効果的な施策の企画立案を行うことが求められます。重責ではありますが、国民の安心と安全を守るという崇高な使命を持って従事できるこの仕事に誇りを感じています。正義感と情熱を持った皆さんとともに勤務できる日を楽しみにしています。

## 暴力団を排除するために

皆さんは、暴力団とは何かを知っていますか。暴力団は我が国最大の犯罪組織であり、暴力団によるけん銃を使用した凶悪な犯罪も後を絶ちません。

私は、現在、福岡県警察本部組織犯罪対策課において、暴力団犯罪の取締りや暴力団排除活動等に従事しています。福岡県は、指定暴力団が全国で最も多く、けん銃の発砲件数も全国上位であり、日本の暴力団対策の最前基地と言われています。

暴力団対策では、「取締りと排除は車の両輪」と言われています。昨年は、北九州地区暴力団犯罪捜査課において、暴力団組員によるけん銃使用殺人未遂事件特別捜査本部の捜査員として従事するなど暴力団犯罪の取締りに従事しました。現在は、組織犯罪対策課において、暴力団事務所の撤去活動や中高生を対象とした暴力団排除教育の実施等の暴力団排除活動に従事しています。第一線において、暴力団対策を推進していくことは容易ではありませんが、日々やりがいを感じながら業務に従事しています。

Ⅱ種採用警察官は、このように第一線の現場で勤務する機会が与えられており、その勤務で培った豊富な経験を警察庁勤務における施策の企画立案にフィードバックすることができます。「悪は絶対に許さない」という正義感と情熱にあふれた皆さん、私たちと一緒に働いてみませんか。

## 県警察本部の係長として STEP 2



福岡県警察本部暴力団対策部組織犯罪対策課係長  
(平成17年入庁)

## 刑事局 組織犯罪対策部

### 企画分析課

相互に連携を深め、各種犯罪を敢行する暴力団、薬物・銃器の密輸・密売組織、来日外国人犯罪組織等の犯罪組織に関する情報の集約やその分析による組織の実態解明、これらを踏まえた戦略的な組織犯罪対策の企画立案、調整等の業務を行っています。

### 暴力団対策課

我が国の社会経済活動をむしろみ、市民生活の平穩に対する重大な脅威となっている暴力団の壊滅に向け、暴力団犯罪の取締りに関する業務、暴力団対策法に基づく暴力団員による不当な要求行為等の規制に関する業務、暴力団排除活動及び暴力団被害者対策の推進に関する業務を行っています。

### 薬物銃器対策課

覚せい剤・麻薬等の薬物やけん銃等の銃器の密輸・密売に暴力団や来日外国人等の犯罪組織が深く関与していることから、国内外の関係機関とも連携し、これら薬物及び銃器に関する犯罪の取締りに関する事務を担当するほか、薬物乱用防止や銃器根絶のための広報啓発活動等の各種施策を総合的に推進しています。

### 国際捜査管理官

依然として厳しい来日外国人組織犯罪の情勢や国境を越えて活動する国際犯罪組織に対する総合的な対策を推進するとともに、国際刑事警察機構(ICPO)や外国捜査機関等との連携、国外逃亡被疑者の追跡捜査等に関する業務を行っています。

### 犯罪収益移転防止管理官

我が国のFIU (Financial Intelligence Unit: 資金情報機関) として、疑わしい取引の届出に関する情報の集約、整理及び分析並びにその結果の捜査機関及び外国のFIU等への提供を行うとともに、FATF (Financial Action Task Force: 金融活動作業部会) 等各種国際的枠組みへの参加を通じて、犯罪による収益の移転防止に関する国際的な連携を図っています。